

民主島根

2022年
2.13
第1400号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

コロナから命と暮らしを守れ 大規模検査で社会経済機能維持、感染抑止を

にひ前参院議員、中国5県の共産党が省庁要請

日本共産党の、にひさうへい前参院議員は7日、新型コロナウイルス対策を求めて国会内で政府交渉し、ワクチン接種の加速化や保健所体制と大規模検査の拡充、事業者者支援の抜本的強化等を含む6項目について6省庁に申し入れました。中国5県の共産党議員らがオンラインで参加し、島根から尾村利成、大國陽介両県議らが参加しました。尾村氏はコロナ第6波の対応で100人超の県職員が保健所の応援や宿泊療養所の運営業務に派遣されていると訴え、「保健所数も保健師を含めた職員数も抜本的に拡充し、それに見合った財政支援を行うべき」と要望。大國氏は「事業復活支援金」について、少なくとも持続化給付金並みへ



国会内で申し入れる、にひ前参院議員(参院比例予定候補)とオンライン参加する中国5県の地方議員ら(7日、Zoom)



厚労省の担当者は、保健所体制について「人員体制が確保されるよう総務省とも連携し財政措置など対応していきたい」と答えました。

松江市長に住民投票請求 島根2号機 みんなで決める松江の会 立地市町村で全国初

島根原発2号機の再稼働の是非について住民投票を求める市民団体「どうする島根原発? みんな



オンライン参加する(左から)大國、尾村両県議ら(7日、松江市)

を受けたとはいえ、市長と市議会にすべて任せるとはならず、市民の総意を踏まえた決定が重要。ぜひ条例の制定を」と語り

給付金第2弾の実施を 大國県議、市議団が要望

新型コロナ感染急拡大を受け、日本共産党出雲市議団は1月26日、コロナ対策の拡充を求めて市へ7回目の申し入れを行いました。



岡健康福祉部長(右)に申し入れ書を手渡す後藤市議と(左へ)大國県議、吉井市議

後藤由美、吉井安見両市議と大國陽介県議が参加し間島尚志防災安全部長、岡眞悟健康福祉部長、橋本孝経済観光部長、三島武司副教育長が対応。申し入れは、▽3回目

のワクチン接種の前倒し実施▽県の無症状の市民を対象とした「PCR等検査無料化事業」の実施▽検査数の拡大と期間延長を県に要望すること▽減収が見込まれる飲食店や観光業をはじめ、あらゆる業者に補償と給付金第2弾の実施▽学校での検査拡充と少人数学級を前倒しして実施すること▽国や県に求めること―など9項目です。

日本共産党演説会

4月10日(日) 14:00~
松江テルサホール

弁士

党書記局長(参院議員)

小池 晃

いのちまもる
政治を今こそ

コロナ対策を実施して開催しますのでぜひご参加ください。コロナ感染状況によっては、オンラインでの開催に変更する場合があります。主催:日本共産党島根県委員会

鼓動

今ではすっかり冬の景色として定着したシベリアからの冬の使者、コハクチョウが今年も宍道湖北側の国道431号北側の佐陀川周辺の田んぼに飛来している。落ち穂や稲の根、草の新芽をついばみながら羽を休めている姿は、何とも微笑ましい。この地域は日本の集団越冬地の南限で、飛来数は300羽を超えるときもあるという。2000年から島根の県鳥とされた白鳥(それ以前はオオハクチョウ)。コハクチョウが西日本まで渡るのに対し、オオハクチョウは関東以北、主に北日本で冬を越す。湖北地域で越冬したコハクチョウは2月下旬ころから北へ帰行し、北海道の湖沼などに集結。4月下旬に日本を飛び立ち、4000キロ離れたシベリアの繁殖地に渡る。一方、ヒトの世界では、島根県にも新型コロナウイルス対策の「まん延防止等重点措置」が適用され、1月27日、2月20日までの25日間、県内全域の飲食店等に営業時間の短縮や酒類提供の制限などを要請。懸念にしている居酒屋やスナックなどからは27日から休業すると連絡があった。重点措置期間すべてで要請に応じた飲食店には協力が支払われることになっていくもの、こちらは羽休めとはいえず、感染抑制のための全県を挙げた我慢の日々が続いている。感染状況が早期に改善し、期間内の収束を願うばかりだ。2020年春、全国に緊急事態宣言が出され、解除後に馴染みの飲食店が営業を再開した時、「おかえり」と最初に伝えた。来年、コハクチョウが越冬のために再び飛来した時にも、こう伝えようと思う。(遠)